

# Connected Industries実現に向けた共通商取引ルール等の制度見直し

## 昨今の環境の変化

- 第四次産業革命によるICTの進展及びプラットフォーマーの出現、業種横断的なビジネスの活発化等による競争環境の変化
- 意欲的な事業主体がイノベーションを創出し、多種多様な事業展開や革新的なサービス提供（例えば、社会インフラとなりえるワンストップサービスの提供）を可能とする環境整備の必要性
- 利用者利益の「保護」のみならず、利用者利益の「実現」の達成による更なる豊かな消費生活の実現の必要性



様々なつながりによって、新たな付加価値の創出や社会課題の解決をもたらす「Connected Industries」の実現が求められている

## 検討の方向性①イノベーションの促進

- 業種横断的なビジネスの出現等、産業構造の変化を適切に反映した規制により、我が国の企業のイノベーションに繋げる。
- 意欲的な事業者が、データの利活用等を通じ革新的なサービスを創出するとともに、こうしたサービス提供によって消費者利便を向上させる。
- そのためには、以下の検討を行うべきではないか。
  - ① 業法ごとの当局への対応コスト縮減
  - ② Reg Techの導入
  - ③ 現在のビジネス環境にあわない規制の見直し

## 検討の方向性②社会的責任・公正の実現

- あらゆるサービスを包摂する業種横断的なビジネスに問題が生じた場合の社会的影響の大きさに鑑みて、消費者保護・安全確保など社会的責任を求めるべきではないか。
- 特に、多くの個人・事業者の参加するプラットフォームを提供するビジネスに特有の責任として、参加者に対する公正の確保を求めるべきではないか。

## (参考) 未来投資戦略2018の関連記載

### i) イノベーションの進展を踏まえた法制度の見直し

現在の業態ごとの金融・商取引関連法制を、同一の機能・リスクには同一のルールを適用する機能別・横断的な法制に見直すことについて、関係省庁において連携しつつ検討を行い、法整備に向けた基本的な考え方について、本年度中に中間整理の取りまとめを目指す。

### ii) プラットフォーム選択環境の整備

新たなプラットフォーム型ビジネスが次々と創出され、活発な競争が行われる環境を整備するため、利用者が最も使いやすいプラットフォームを選択でき、中小企業やベンチャーを含めた公正かつ自由な競争環境が確保されるための取組を検討する。

このため、既存の縦割の業規制からサービス・機能に着目した規制体系への転換の在り方や、特定のプラットフォームからいつでもユーザーが移籍できるデータポータビリティやオープンに接続されることが可能なAPI 開放等を含め、公正かつ自由で透明な競争環境の整備、イノベーション促進のための規制緩和(参入要件の緩和等)、デジタルプラットフォーマーの社会的責任、利用者への公正性の確保などについて、関係省庁で検討し、本年中に基本原則を定め、これに沿った具体的措置を早急に進める。